

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 193 号 2014. 5. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

風邪で消耗した体に自然米

千葉県 小池洋子

昨年2月7日、急に風邪をひき、朝より気分の悪さ、頭痛と、食欲もまったくない状態でした。日ごろあまり体調の悪いことがないのに、なぜこんな日に…と、目の前が真っ暗になりました。というのは、私は食育指導の仕事をしていて、講演会を次の日に控えていました。私の代役は勿論なく、一人で2時間、原稿もなく話をしなくてはなりません。来た方や質問に合わせて話をすることになっていた回で、原稿は頭の中です。

その日の夕方に、唄のお稽古の予定があり、先生の関口さんに稽古をお休みしたい旨をメールしたところ、関口さんは自分のことは後回しにして、すぐに私の家まで、自然米で作った一つのおにぎり、すぐに作れるよう刻んである自然農法の野菜と、自然農法の粉で作ったうどんを持ってきてくださいました。熱のため食欲はまったくありませんでしたが、お昼をすぎて、おにぎりを口にしてみたら、何とも言えず美味しく、消耗した体に優しく収まりました。他の食べものは入っていかないのに、自然米のおにぎりは、今でも憶えているほどおいしく思えました。その日の夜は、さらに気分は悪くなり、寒気と共に熱は39℃を超えてしまいました。関口さんになんとかメールしたところ、「行こうか」と返信がありましたが、夜中に近く、また私もとても立てないので、その旨返信しました。

ところが翌朝、気分よく目覚め、熱はなんと36.5℃に下がっていました。こんな高熱より一日で良くなることは経験がなく、ただただ驚きでした。無事に講演会を終え、ホッとしたところで、昨日のうどんを感謝しつつ美味しく頂きました。大きな奇跡的体験と、自然農法の食べ物の美味しさは、私の人生の中で忘れられない出来事となりました。



その後、関口さんが以前からされている自然農法の畑をお手伝いしています。もともと関口さんが車で来て作業していたのですが、その畑は私の家からすぐそばなので、私が勝手に手入れしています。(言うならば態度の大きい小作人です)。駐車場一台分くらいの大きさで、去年の夏いっぱいかけて、今まで使えなかった硬い部分を開墾して石をふるいにかけました。ミニトマト、タマネギ、枝豆、南京豆、万能ネギ、シソなどを栽培し、これからはサツマイモを植える予定です。ゴザを利用して畑を分けたり、工夫しています。畑には1日1、2回は必ず行って見えています。今年は農産展に出品する予定です。



関口さん

お茶摘み！ 三六九会

5月17日(土)、埼玉県入間市にある三六九会茶畑でのお茶摘みに参加しました。昨年は寒さが残り、葉の伸びがもうひとつでしたが、今年はとても順調でした。当日も快晴で風が気持ちよく、皆笑顔で作業していました。参加者は小学生2名を含む39名でした。

製茶工場の方によると、周りのお茶農家さんは今年成績が良くなく、収量が昨年の半分か、1/3の所もあり、三六九会のお茶が一番良かったそうです。またお茶の葉が“磨かれてきた”という評価を頂きました。収量は143.4kgでした。



参加者からは「去年より葉が大きく、摘みやすかった」「質が良く生で食べても渋みがない」「土そのものが変わった感じがする」などの感想がありました。小学生の男の子も、「周りの畑とお茶の葉の色が違う」ことに気付いたそうです。

途中、見学に来たご夫婦に、生の葉で淹れたお茶と茶葉の天ぷらを味見していただきました。連れていた小さいお子さんもお茶を喜んで飲んでいました。自然農法の味を知ってもらえてよかったです。来年もぜひ参加したいです。(編集部)

お茶摘み！ 市川生産グループ

今年も静岡宇佐美では4月29日、長者原は5月17日、のべ63名で市川生産グループによるお茶摘みを行いました。

宇佐美ではお昼前より雨が降りましたが、「命を救うお茶を」と祈りながら、誰一人として手を休めず、真心こめて、105kgのお茶を摘むことができました。製茶工場の右原さんも皆の思いをくんで、濡れた茶葉を見事な煎茶にしてくださいました。長者原では、地主の杉山さんとそのご家族がお手伝いいただき、新緑の中、さわやかな風に快く、104.3kgのお茶を摘むことができました。31名の参加に、杉山さんにも大変喜んでいただくことができました。



宇佐美



長者原

今回の茶摘みでは、前日まで参加をあきらめるほど体調の悪かった方が参加でき、自然農法の畑作業で楽になり、次の日の多忙な仕事も疲れが残らず元気になったと聞き、何人の方が「自然農法の畑には、確かに人を元気にする不思議な力があると感じます」と口にしていました。飲むだけでなく、作業を通して健康を頂けることが分かった、有意義なお茶摘みとなりました。(スタッフ森章代)

弥生会の取り組み！

主に20代の弥生会は、埼玉県狭山市で、地主の岸様のご協力の元、毎週末、自然農法の実践をしています。自然農法33年と19年の畑を代々引き継ぎ、未熟ながらも、自然農法の作物を育てることの感動、育つ過程の喜び、お世話の中での反省や後悔などを仲間と共に味わい、学んでいます。

人を生かす自然農法の素晴らしさとともに、一般的な食の問題を考え、また食そのものに対して当たり前になっていることに気付き、有り難味を感じる心に近づけるよう、実践に取り組んでいきたいと思えます。

今年は、ジャガイモ、里芋、サツマイモを例年よりがんばろうと思っています。土寄せ、中耕の頻度を多くし、雑草が生えない、作物が育ちやすい環境作りを心掛けるつもりです。(弥生会農園スタッフ)



お知らせ	自然農法勉強会	5月30日(金) 午前の部 10:30~ / 午後の部 19:00~ (別院講堂)
	自然農法頒布会	5月26日(月)、6月19日(木) 鎌ヶ谷会場 11:00~
	自然農法頒布会	6月29日(日) 東中野会場 10:00~ (売り切れ次第終了)
無施肥無農薬栽培物の販売予定		6月3日 於：伊都能売会館
生産者の方々が直接販売されます。		東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 市川生産グループ：新茶、ほうじ茶、みかんジュース
- 中島農園：キヌサヤエンドウ、フキ、梅干
- きじま平自然農産：黒豆菓子、米粉、納豆、そば粉、甘納豆、ブルーベリージャム
- 長柄山自然農園：卵
- 菜園金野：大根、人参、スナップエンドウ、京菜
- ジョリフィユ：自然のみかんジュースゼリー、イチゴのロールケーキ、カスタードプリンほか

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>